

文 教 委 員 会 資 料

所管事務の調査（報告）

「かわさき電子図書館」の本格実施について

資 料

「かわさき電子図書館」の本格実施について

令和 6 年 1 0 月 8 日
教 育 委 員 会 事 務 局

「かわさき電子図書館」について

令和5年3月から試行実施を開始



電子図書館の特徴 ～いつでも どこでも もっと便利に！～

非接触・非来館型

- PCやタブレット、スマホでいつでもどこでも24時間利用
- 期限が来たら自動返却（延滞なし！）

様々な読書ニーズ対応

- 文字の大きさ変更可能
- 音声読上げ機能
- 多言語対応
- 動画・音声付き絵本

学校教育との連携

- GIGA端末を利用した児童生徒の読書普及
- 学校の授業に利用可能
- モデル校で検証



利用対象者

市内に在住・在勤・在学の方で
図書館貸出カードをお持ちの方

コンテンツ数

5, 964点
(タイトル数5, 528点)

※買切り型コンテンツ…5,742点、
読み放題コンテンツ…222点
※令和6年9月時点



貸出・予約点数

3点まで

貸出期間

2週間

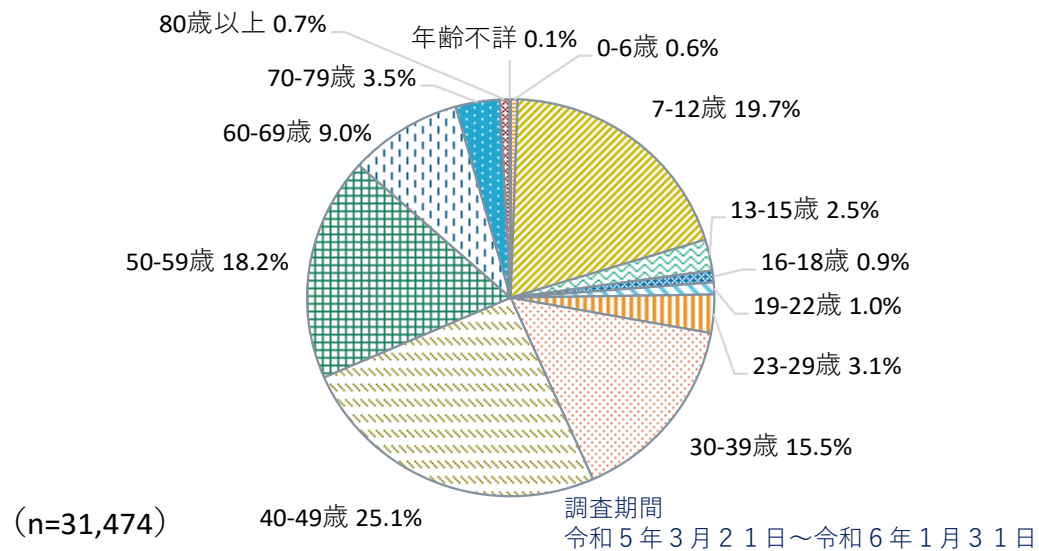
利用料

無料

※インターネット接続料は利用者負担

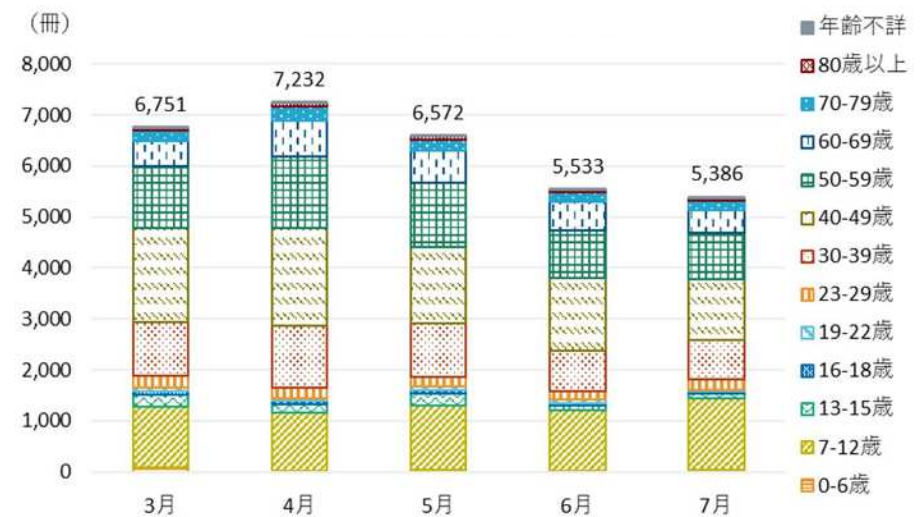
試行実施における利用状況

年代別貸出数の割合



年代別では、7～12歳の小学生世代及び30～50代の子育て・働き世代の利用が活発だが、13～18歳の中高生世代～20代は利用が少ない。

年代別貸出数の推移 (令和5年)

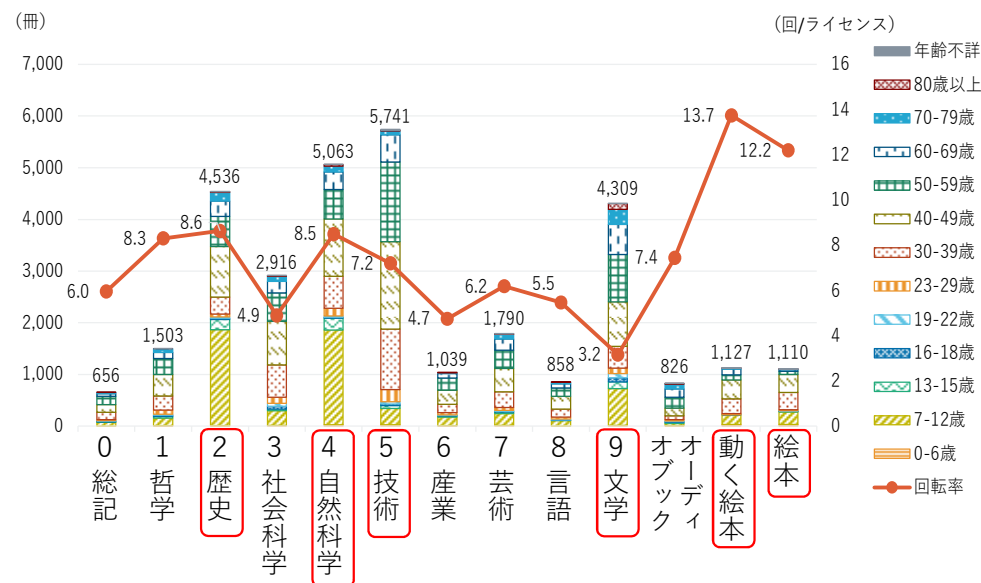


約5,000コンテンツの展開の中で、導入直後は利用が多いが、5月以降は減少傾向にあるため、広報とコンテンツの充実が必要になる。

電子書籍の利用実績（令和5年度）

- ・利用者数（ログイン者数）
13,174人
- ・貸出冊数（合計）
67,701冊
- ・閲覧数（合計）
162,324件

分類及び年代別貸出数



月平均で貸出冊数約5,600冊、閲覧数約13,500件となっており、年間を通して継続的な利用がされている。

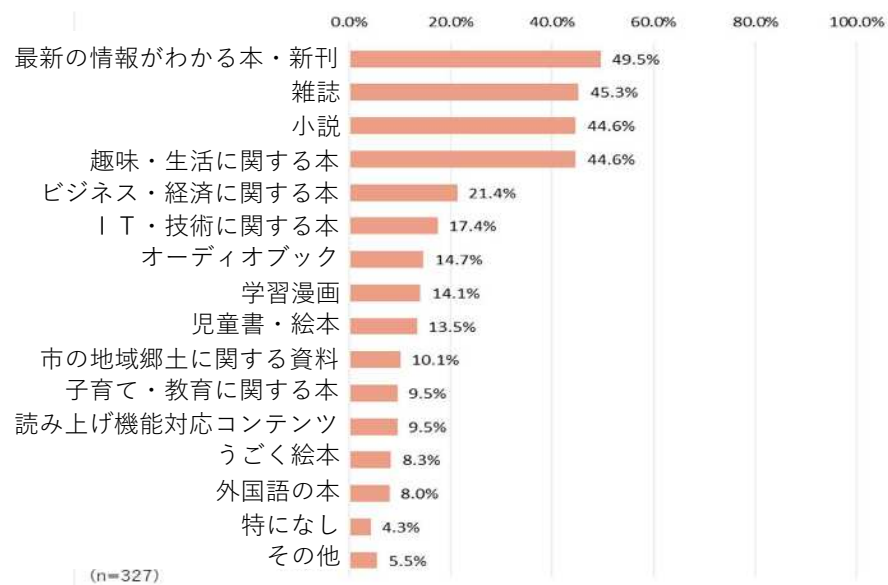


学習漫画を含む歴史、自然科学で小学生世代の利用が多い。
料理のレシピ本を中心に技術で30～50歳代の利用が多い。
 文学は利用が多いものの、読み終えるまでに時間がかかるため、回転率は低い。
 動く絵本・絵本はコンテンツ数が限られている一方で、短時間で読み終えるため、回転率が高い。

利用者の声

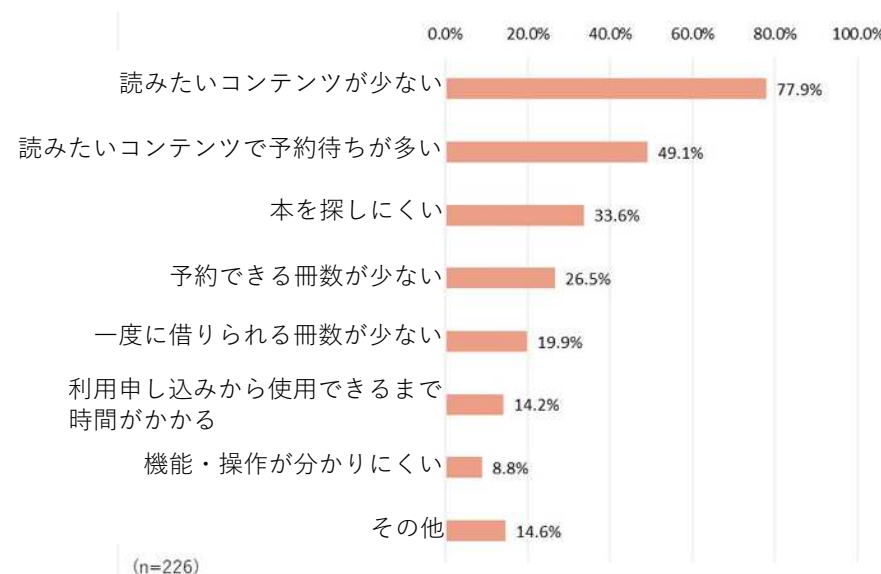
令和5年8月実施
「かわさき電子図書館利用者アンケート」結果から

充実してほしいコンテンツ



「最新の情報がわかる本・新刊」が最も多く、次いで「雑誌」「小説」「趣味・生活に関する本」が多く、いずれも4割以上を占める。

改善してほしい点



「読みたいコンテンツが少ない」、「読みたいコンテンツで予約待ちが多い」が上位を占めていることから、コンテンツ規模がニーズに追い付いていない状況が伺える。
「その他」の回答としては、予約していたコンテンツが確保されても通知・メール等がないことに対して改善を求める声が多かった。

学校での活用

モデル校の東大島小学校では令和5年7月から、南河原中学校では同年9月から、朝の読書活動での利用を中心に、授業の調べ学習等で利用

東大島小学校

児童の声

- ・ 絵や写真を大きくできるのがよかった。
- ・ 暑くて外に出られなかった時、電子書籍をいっぱい読んだ。

先生の声

- ・ 日本語が苦手な子でも電子書籍なら読みやすいようだった。
- ・ 特別支援学級では、音声が出ることから子どもたちが一生懸命に読んでいた。

南河原中学校

生徒の声

- ・ 本を買ったり借りなくても、すぐに読めるのがよかった。
- ・ 学校図書館にはない本が、たくさんあって面白い。

先生の声

- ・ 電子書籍はGIGA端末で使えるので、本を買いに行ったり、図書館に行く必要がなく、時間のない中学生には適している。
- ・ 電子書籍の導入によって読書の入口が広がる。

調査により、利用状況、改善すべき点を把握することができたことから

令和6年10月22日（火） 本格実施開始

利用者にとって、より魅力的なサービスにするため、
新規の利用者の獲得や現在の利用者に継続して御利用いただける取組を行う。



【本格実施の主な内容】

- 1 図書館総合システムとの連携による利便性の向上**
- 2 電子書籍コンテンツの充実**

【本格実施の主な内容】 1

図書館総合システムとの連携による利便性の向上

- ①それぞれ設定する必要があった「かわさき電子図書館」と「図書館総合システム」のパスワードが統一される。
- ②蔵書検索や貸出状況確認など、紙の書籍と電子書籍を分けずに行うことができる。
- ③予約した電子書籍が用意できたこと等を知らせるメールが届くようになる。
- ④利用登録と同時に利用可能になる（これまで翌日からの利用）。

【本格実施の主な内容】 2

電子書籍コンテンツの充実

●買切り型コンテンツ(一度購入すると期限なく継続して利用できる電子書籍)

●読み放題コンテンツ(同時に複数人で閲覧できる電子書籍)

現在、買切り型コンテンツ5,742点、読み放題コンテンツ222点(児童生徒向け)を購入

⇒学校利用充実のための児童書など、魅力的なコンテンツを引き続き購入

●有期限型コンテンツ(2年間等の期限がある電子書籍)

NEW

現在、未購入。貸出可能期間の制限はあるが、小説を中心とした新しいコンテンツが豊富

⇒本格実施時に約1,500コンテンツを購入することで利用者ニーズに対応、今後も随時購入し拡充を予定

●企業との連携(協賛者名つき電子本棚の設置)

NEW

⇒市内企業等からの電子書籍購入による協賛の仕組みを構築することで、コンテンツの多様化を図る。

本格実施に合わせて、電子書籍充実に協賛(寄附)いただける企業等を募集する。いただいた寄附金により、電子書籍を購入し、協賛者の名称をつけた「電子本棚」をかわさき電子図書館に設置する。